

XBRL から CSV への 変換ツール操作ガイド

平成 25 年 8 月

金融庁 総務企画局 企業開示課

- ◆Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ◆Microsoft、Excel、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標又は商標です。
- ◆Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標又は登録商標である場合があります。
- ◆Adobe® product screen shots reprinted with permission from Adobe Systems Incorporated.
- ◆Adobe、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator は、Adobe Systems Incorporated の登録商標又は商標です。
- ◆その他、記載されている会社名及び製品名は、各社の登録商標又は商標です。
- ◆本文中では、TM、®、©は省略しています。
- ◆本文及び添付のデータファイルで題材として使用している個人名、団体名、商品名、ロゴ、連絡先、メールアドレス、場所、出来事等は、全て架空のものです。実在するものとは一切関係ありません。
- ◆本書に掲載されている内容は、平成 25 年 8 月現在のもので、予告なく変更される可能性があります。
- ◆本書は、構成、文章、プログラム、画像、データ等の全てにおいて、著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写、複製等、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。
- ◆本書に記載の会社名及び製品名について、金融庁はそれらの会社、製品等を推奨するものではありません。






1 XBRL から CSV への変換ツール	1
1-1 はじめに	1
1-2 XBRL から CSV への変換ツールを使用するには	2
1-3 XBRL から CSV への変換ツールの操作手順	3
1-3-1 ツールの起動	5
1-3-2 変換対象の指定	9
1-3-3 変換処理の実行	13
1-4 変換ツール画面	15
1-4-1 エラーメッセージの一覧	17
1-5 CSV 出力結果	18
2 出力日本語名の変更及び追加機能	20
2-1 出力日本語名の変更及び追加機能について	21
2-2 出力日本語名の変更及び追加手順	24
2-2-1 変換ルール定義ファイルの作成	25
2-2-2 変換ルール定義ファイルを指定して実行	27

本書について

本書は、「XBRL から CSV への変換ツール」の操作ガイドです。

本書の記載について

本書内に記載されている記号は、次のような意味があります。

表示	意味	表示	意味
POINT 	操作に関連するポイントについて説明しています。		画面の入力や選択する項目等をさします。
MEMO 	知っておいていただきたいことについて説明しています。		画面で表示された項目をさします。
 重要	重要事項について説明しています。必ずお読みください。	《 》	画面の項目名をさします。 例:《EDINET コード》をクリックします。
[]	画面名をさします。 例:[提出者検索画面]が表示されます。	【 】	キーを押す操作をさします。 例:[F5]キーを押します。

1 XBRL から CSV への変換 ツール

XBRL から CSV への変換ツールについて説明します。

1-1 はじめに

XBRL 情報を活用したい場合、「XBRL から CSV への変換ツール」を使用して、データを加工しやすいように XBRL ファイルから CSV ファイルを作成することができます。

入力として指定された XBRL ファイルから抽出した、「要素 ID」、「コンテキスト ID」、「ユニット ID」及び「インスタンス値」と、それぞれの項目を変換ルール定義ファイルと照合し、取得した変換後文字列を CSV 形式に出力します。

1-2 XBRL から CSV への変換ツールを使用するには

「XBRL から CSV への変換ツール」を使用するには、Java 実行環境がインストールされている必要があります。次にインストール方法を示します。



Java 実行環境のインストール方法

「<http://www.java.com/ja/download/>」のホームページから Java 実行環境 (JRE) をダウンロードしてインストールします。

※上記サイトは Oracle Corporation において運営されており、金融庁が運営しているものではありません。アドレスは、平成 24 年 12 月 26 日時点のものです。



1-3 XBRL から CSV への変換ツールの操作手順

「XBRL から CSV への変換ツール」を利用して、XBRL から CSV への変換を行う手順は、次のとおりです。

1

XBRL ファイルのダウンロード

[検索結果画面]から CSV 変換する XBRL ファイルをダウンロードします。

(検索方法及びダウンロードの詳細については「書類閲覧操作ガイド」を御参照ください)



2

ツールの起動

「XBRL から CSV への変換ツール」を起動します。



3

変換対象の指定

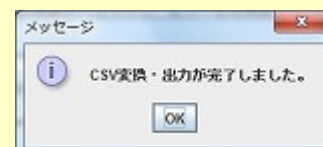
変換対象の XBRL ファイルと出力先を指定します。



4

変換処理の実行

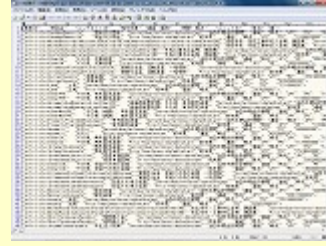
変換処理を実行します。



5

変換結果の確認

CSV 形式に変換した結果を確認します。



1-3-1 ツールの起動

ツールの起動方法について説明します。

1

[有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト]のトップページにある《ダウンロード》リンクをクリックします。



[ダウンロード]メニューが表示されます。

2

ダウンロードメニューの《XBRL から CSV への変換ツール》リンクをクリックします。



[XBRL から CSV への変換ツール]画面が表示されます。

3

《XBRL から CSV への変換ツールのダウンロード及び起動》リンクをクリックします。



4

「XBRL から CSV への変換ツール」の起動時には、Java の起動画面が表示されます。

Java のアップデートを促すメッセージが表示される場合がありますが、書類閲覧用端末要件に記載されたバージョンのみ動作確認を行っているため、他のバージョンにアップデートし問題が発生しても保証できません。

確認メッセージが表示されます。

5

XBRL から CSV への変換ツールの内容が保証されていることを示す画面が表示されます。《発行者》が「Financial Services Agency」(金融庁)であることを確認し、**実行** (実行) ボタンをクリックします。

「XBRL から CSV への変換ツール」が起動します。

ショートカットについて

POINT 

XBRL から CSV への変換ツールを一度起動しますと、デスクトップに起動用のショートカットが自動的に作成されます。

※次回以降は Web ページ又は作成されたショートカットのどちらからでも起動できます。

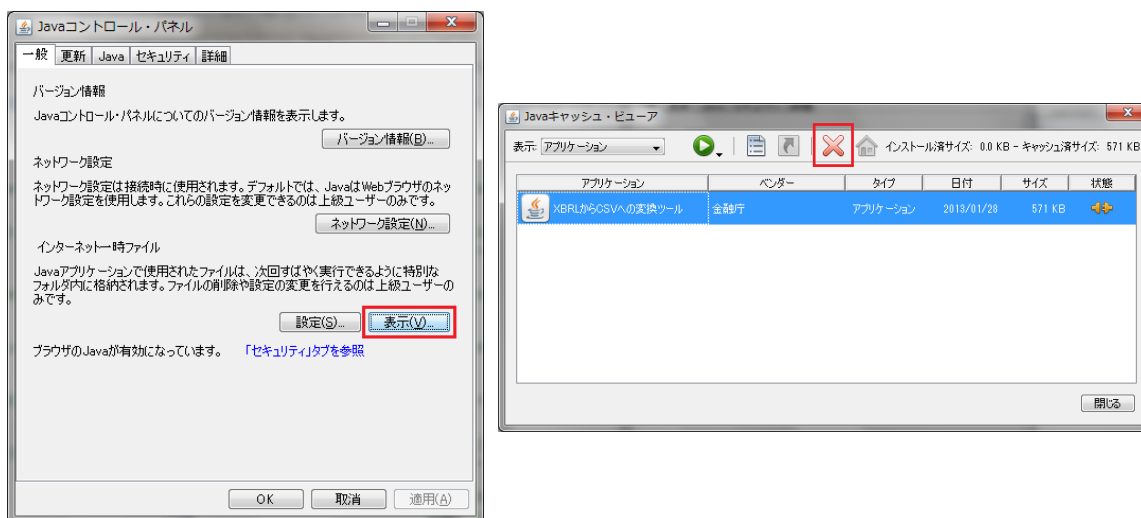
※ショートカットで起動した場合、最新のツールの存在を確認し、存在した場合、最新のツールを取得し起動します。



POINT ショートカットが作成されない場合

御使用のマシンの状態によっては、ショートカットが作成されない場合があります。ショートカットが作成されない場合は、次の操作を行ってください。

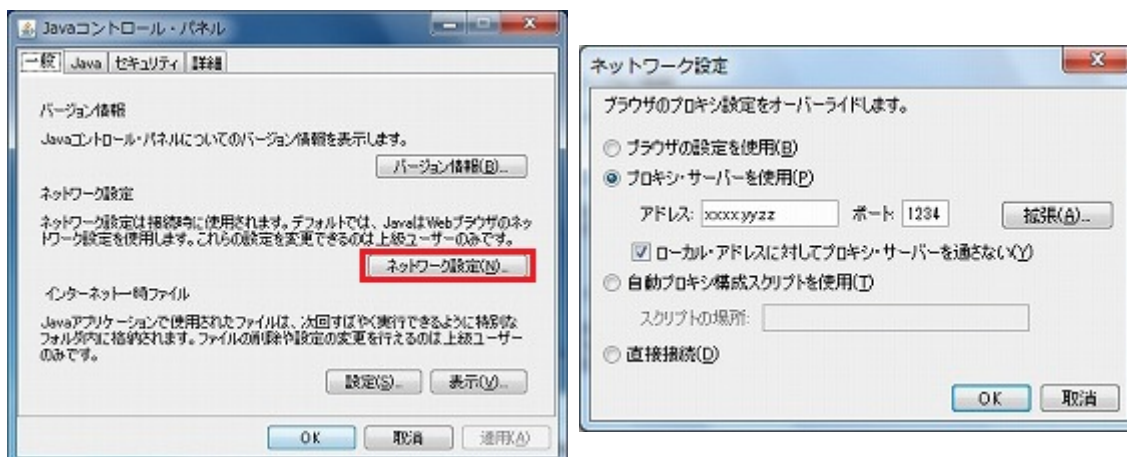
- (1) Windows のコントロールパネルから「Java」をクリックし、[Java コントロールパネル]を表示します。
- (2) [Java コントロールパネル]の「一般」タブから「インターネット一時ファイル」の **表示(V)...** (表示) ボタンをクリックし、[Java キャッシュ・ビューア]を表示します。
- (3) アプリケーションのキャッシュを削除し、コントロールパネルを閉じます。
- (4) 再度[有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト]から「XBRL から CSV への変換ツール」をダウンロードします。



POINT プロキシサーバ経由で利用する場合の注意点

プロキシサーバを利用した Web アクセス環境では、「Java」のプロキシサーバの設定が必要になります。

- (1) Windows のコントロールパネルから「Java」をクリックし、[Java コントロールパネル]を表示します。
- (2) [Java コントロールパネル]の「一般」タブから「一般」タブの **ネットワーク設定(N)...** (ネットワーク設定) ボタンをクリックし、[ネットワーク設定]画面を表示します。
- (3) プロキシサーバの設定を実施します。





POINT XBRL から CSV への変換ツールの起動に失敗する場合

操作環境を満たしているにもかかわらず、XBRL から CSV への変換ツールの起動に失敗する場合は次を確認してください。

Java 実行環境では、複数の JRE のバージョンをインストールしている場合、利用する JRE のバージョンを切り替えることができます。XBRL から CSV への変換ツールの起動に失敗する場合は、操作環境を満たしていない JRE のバージョンが有効になっている可能性がありますので、有効となっている JRE のバージョンを確認してください。

有効な JRE のバージョンは次の方法で確認できます。

- (1) Windows のコントロールパネルから「Java」をクリックし、[Java コントロールパネル]を表示します。
- (2) [Java コントロールパネル]の「Java」タブにある (表示) ボタンをクリックし、[Java Runtime Environment 設定]を表示します。
- (3) バージョンを確認します。
- (4) 「有効」にチェックが入っている JRE が操作環境を満たしていない場合は、操作環境を満たすバージョンの《有効》チェックボックスにチェックした後、 (OK) ボタンをクリックし、設定を変更します。



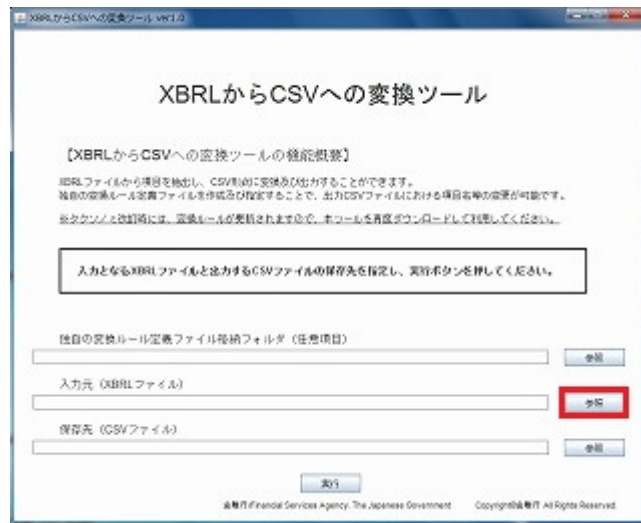
1-3-2 変換対象の指定

1

[XBRL から CSV への変換ツール]を起動します。

2

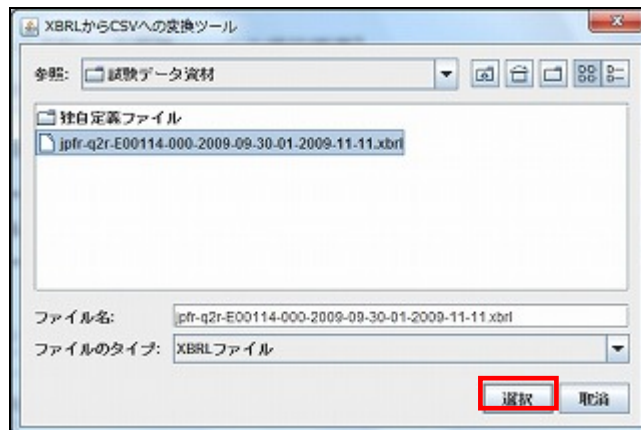
CSV 変換する XBRL ファイルを指定します。入力元の **参照** (参照) ボタンをクリックします。



[ファイル選択画面]が表示されます。

3

XBRL ファイル名を選択し、**選択** (選択) ボタンをクリックします。



[XBRL から CSV への変換ツール]へ戻ります。

4

出力する CSV ファイルを指定します。保存先の **参照** (参照) ボタンをクリックします。



[ファイル選択画面]が表示されます。

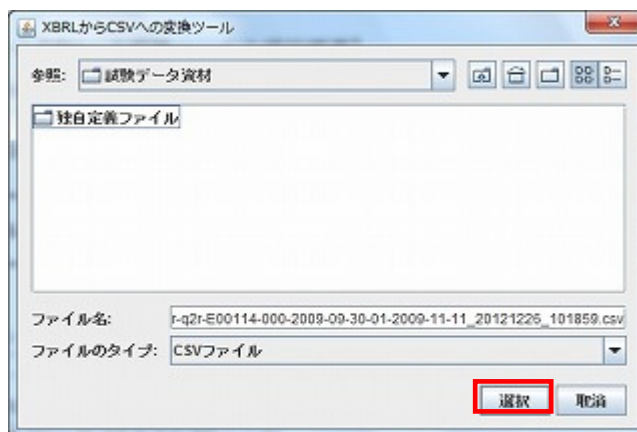
5

CSV ファイル名を選択及び入力し、
 (選択) ボタンをクリックします。

ファイル名について



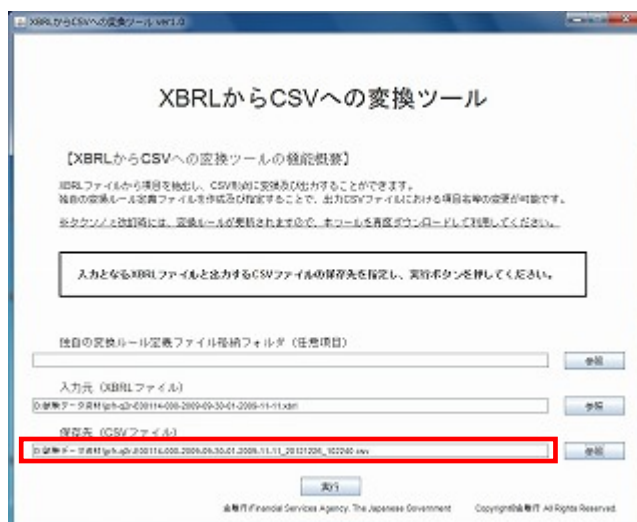
ファイル名は入力ファイルのファイル名
 の後ろに年月日時分秒をつけたものが
 デフォルトで設定されます。



[XBRL から CSV への変換ツール]へ
 戻ります。

6

選択したファイルの格納先が「保存先
 (CSV ファイル)」に表示されたことを
 確認します。





他のファイルを指定する場合

「XBRL ファイル」及び「CSV ファイル」を指定する他の方法として、テキストボックスに絶対パスを直接入力する方法があります。

※絶対パスとは、ドライブ名からファイル名までの全てのパスのことをさします。

例:「C:\¥EDI¥File¥CSV¥File.csv」

XBRLからCSVへの変換ツール ver1.0

XBRLからCSVへの変換ツール

【XBRLからCSVへの変換ツールの機能概要】

XBRLファイルから項目を抽出し、CSV形式に変換及び出力することができます。
 独自の交換ルール定義ファイルを作成及び指定することで、出力CSVファイルにおける項目名等の変更が可能です。
 ※タクソノミ改訂時には、交換ルールが更新されますので、本ツールを再度ダウンロードして利用してください。

入力となるXBRLファイルと出力するCSVファイルの保存先を指定し、実行ボタンを押してください。

独自の交換ルール定義ファイル格納フォルダ（任意項目）

参照

入力元（XBRLファイル）

C:\¥交換ツールデータ¥jpr-q3r-E03615-000-2011-12-31-01-2012-02-14.xbrl 参照

保存先（CSVファイル）

C:\¥交換ツールデータ¥jpr-q3r-E03615-000-2011-12-31-01-2012-02-14.20130213_154755.csv 参照

金融庁/Financial Services Agency. The Japanese Government Copyright©金融庁 All Rights Reserved.



出力日本語名の変更及び追加機能

「XBRL ファイル」及び「CSV ファイル」と同様の方法で「独自の交換ルール定義ファイルの格納フォルダ」を指定しますと、出力される CSV ファイルにおける出力日本語名の設定内容を変更することができます。

本項目の詳細については「2 出力日本語名の変更及び追加機能」を参照してください。

XBRLからCSVへの変換ツール ver1.0

XBRLからCSVへの変換ツール

【XBRLからCSVへの変換ツールの機能概要】

XBRLファイルから項目を抽出し、CSV形式に変換及び出力することができます。
 独自の交換ルール定義ファイルを作成及び指定することで、出力CSVファイルにおける項目名等の変更が可能です。
 ※タクソノミ改訂時には、交換ルールが更新されますので、本ツールを再度ダウンロードして利用してください。

入力となるXBRLファイルと出力するCSVファイルの保存先を指定し、実行ボタンを押してください。

独自の交換ルール定義ファイル格納フォルダ（任意項目）
 参照

入力元（XBRLファイル）
 参照


保存先（CSVファイル）
 参照

実行

金融庁/Financial Services Agency, The Japanese Government
Copyright©金融庁 All Rights Reserved.

1-3-3 変換処理の実行

1

入力の XBRL ファイルと CSV ファイルの保存先を指定した状態で  (実行) ボタンをクリックします。

指定した XBRL ファイルから CSV 変換したファイルを、保存先として指定したフォルダに出力します。



確認メッセージが表示されます。

2

 (OK) ボタンをクリックします。



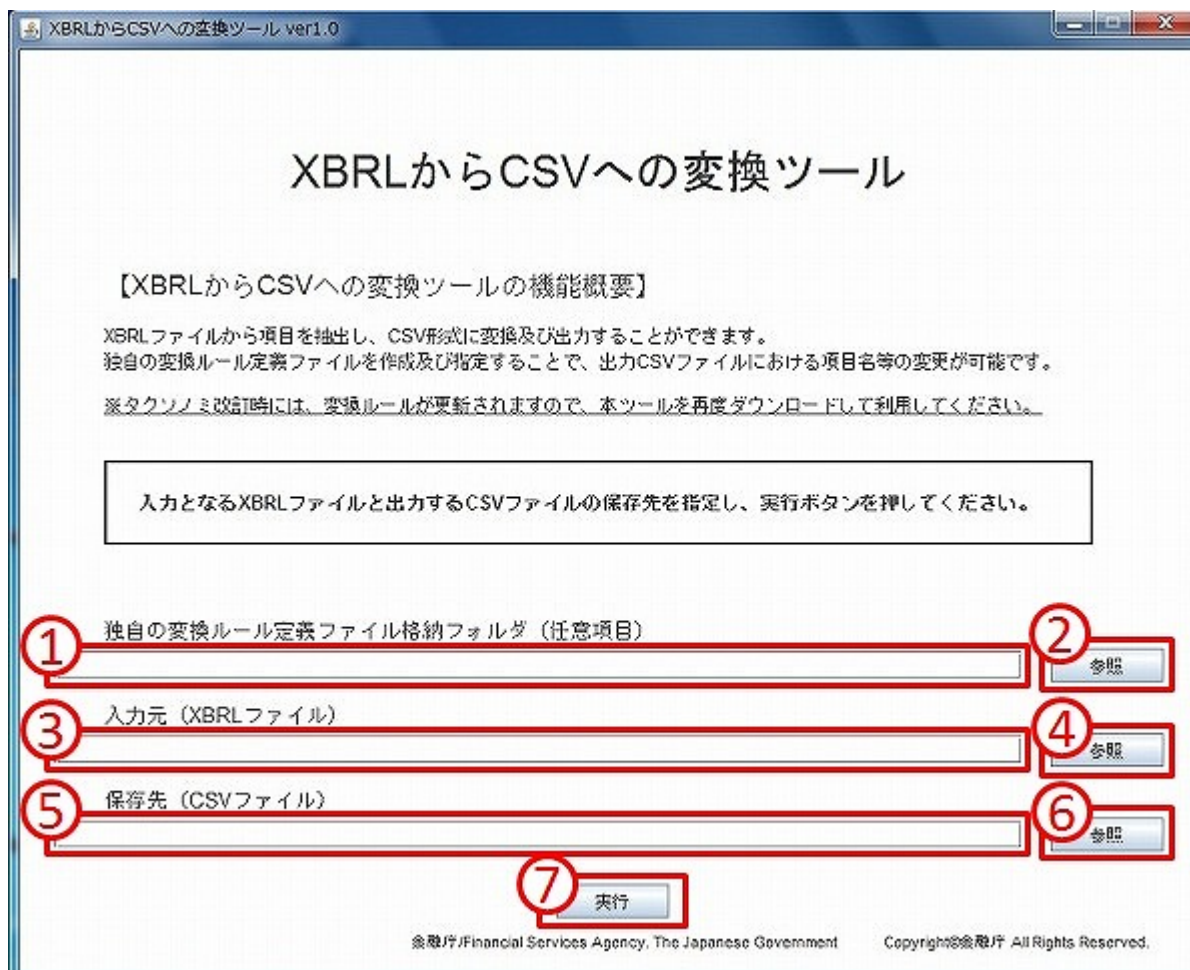
3




指定した「XBRL ファイル」を「CSV 変換したファイル」が、保存先として指定したフォルダに出力されます。




1-4 変換ツール画面

「XBRL から CSV への変換ツール」の画面について説明します。



項目	説明
独自の交換ルール定義ファイル格納フォルダ	独自の交換ルール定義ファイル格納フォルダを指定します。独自の交換ルール定義ファイルの指定は任意です。
① テキストボックス	交換ルール定義ファイルを指定するテキストボックスです。
②  (参照)	[ファイル選択画面]から交換ルール定義ファイルを指定する際に使用するボタンです。
入力元(XBRL ファイル)	入力となる XBRL ファイルを指定します。
③ テキストボックス	XBRL ファイルを指定するテキストボックスです。
④  (参照)	[ファイル選択画面]から XBRL ファイルを指定する際に使用するボタンです。
保存先(CSV ファイル)	出力される CSV ファイルの保存先を指定します。
⑤ テキストボックス	CSV ファイル保存先を指定するテキストボックスです。
⑥  (参照)	[ファイル選択画面]から CSV ファイルの保存先を指定する際に使用するボタンです。

項目	説明
実行	XBRL ファイルから CSV ファイルへの変換処理を実行します。
⑦  (実行)	XBRL ファイルから CSV ファイルへの変換処理を実行するボタンです。

1-4-1 エラーメッセージの一覧

XBRL から CSV への変換ツールを利用する際のエラーメッセージ及び対処方法は次のとおりです。{0} にはファイル等が表示されます。

メッセージ	対処方法
{0}の拡張子が不正です。	該当するファイルの拡張子を修正後、再度ファイルを指定します。
{0}が見つかりません。	該当するフォルダ又はファイルが実在することを確認後、再度ファイル等を指定します。
{0}の内容が不正です。	該当するファイルの内容を修正後、再度ファイルを指定します。
{0}が指定されていません。	該当するファイルを再度指定します。
{0}の文字コードが不正です。	該当するファイルの文字コードを修正して、再度指定します。
{0}の読み込みに失敗しました。	該当するファイルが実在することを確認後、再度ファイルを読み込みます。
{0}の書き込みに失敗しました。	指定したフォルダが読み取り専用フォルダでないかを確認後、再度保存します。 解決しない場合は、一旦、別の場所へ保存してください。

1-5 CSV 出力結果

「XBRL から CSV への変換ツール」により出力される CSV ファイルの内容について説明します。CSV ファイルには文書の表示方法を記載した構成情報部分以外の全ての項目が出力されます。次の表の「項目名①～⑨」は、各値の見出しとして1行目に出力されます。

項目名	値の説明
① 要素 ID	XBRL ファイル内の各項目（行に相当）の ID を示します。
② 項目名	要素 ID に対してツール内部において定義されている項目の名称を示します。
③ コンテキスト ID	XBRL ファイル内の各項目の「相対期間又は時点」又は「期間又は時点」を示します。 ※コンテキスト ID の詳細は、『報告書インスタンス作成ガイドライン』の「5-4 コンテキストの定義」を参照してください。
④ 相対年度	各項目のコンテキスト ID に対して定義されている「相対年度」の情報（XBRL ファイルの提出日時を基準とした情報）を示します。
⑤ 連結・個別	各項目のコンテキスト ID に対して定義されている「連結・個別」の情報を示します。
⑥ 期間・時点	各項目のコンテキスト ID に対して定義されている「期間・時点」の情報を示します。
⑦ ユニット ID	XBRL ファイル内の各項目の「通貨単位」に対応する ID を示します。 ※ユニット ID の詳細は、『報告書インスタンス作成ガイドライン』の「5-5 ユニットの定義」を参照してください。
⑧ 単位	各項目のユニット ID に対して定義されている「通貨単位」の情報を示します。
⑨ 値	XBRL ファイル内の各項目の値（インスタンス値）を示します。

① jppfs_cor:CashAndDeposits jppfs_cor:CashAndDeposits	② 現金及び預金 現金及び預金	③ Prior1YearInstant Prior1YearInstant	④ 前期末 前期末	⑤ 連結 連結	⑥ 時点 時点	⑦ USD JPY	⑧ 円 円	⑨ 100000 200000
---	-----------------------	---	-----------------	---------------	---------------	-----------------	-------------	-----------------------

MEMO CSV ファイルの形式について

XBRL から CSV への変換ツールで出力される CSV ファイルの拡張子は「csv」ですが、区切り文字として「カンマ」ではなく、「タブ文字」を使用しています。そのため厳密には CSV(Comma-Separated Values)ではなく、TSV(Tab-Separated Values)となりますが、便宜上 CSV としています。ファイルを開くソフトウェアによっては、形式を指定して開いてください。主な形式は次のとおりです。

項目名	値の説明
区切り文字	タブ区切りです。
文字コード	Unicode (UTF-16LE) として出力します。
改行コード	「CRLF」を使用します。
各項目の値	各項目はダブルクォーテーション「"」でくくっています。 ※値に「"」が含まれていた場合、「""」の形でエスケープされます。

※ CSV(タブ区切り)はダブルクリックまたは Excel を開いた状態で、ドラッグ & ドロップすることで各セルに値が格納された状態が表示されます。

MEMO 「値(インスタンス値)」の出力について

「値(インスタンス値)」が 30,000 文字を超える場合、CSV ファイルには 30,000 文字(※)まで出力されます。

※文字数のため、半角 30,000 文字 / 全角 30,000 文字 / 全半角混在 30,000 文字の何れかの形式となります。

MEMO 「ブランク」と「-」との違い

各項目の値に「ブランク(空白)」と「-」が出力されることがありますが、この違いについて説明します。

項目	説明
「ブランク(空白)」	各「ID」に対する日本語名がツール内部で定義されていないことを示します。
「-」	次の場合に出力されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 「値」が「-」の場合、明示的に値が「0」であることを示します。 ● 「ユニット ID」及び「単位」の両方が「-」の場合、当該ユニット ID が項目内で設定されていないことを示します。 ● 「2 出力日本語名の変更及び追加機能」を利用し、各 ID に対応する日本語名に「-」を設定した場合に「-」が表示されます。

MEMO 「連結／個別」の出力について

「要素 ID」が「jppfs(財表関連)」で始まる場合、「連結」又は「個別」と出力されますが、「jppfs(財表関連)」以外で始まる場合は、全て「その他」で出力されます。

2 出力日本語名の変更及び追加機能

CSV に出力される日本語名称を変更及び追加する機能について説明します。

2-1 出力日本語名の変更及び追加機能について

XBRL から CSV への変換ツールでは、XBRL ファイル内の各 ID (要素 ID、コンテキスト ID、ユニット ID) に対応する「日本語名」をツール内部で保持しています。

ツール内部で保持している変換ルールを変更する場合、変更又は追加を行った変換ルールを記載した「変換ルール定義ファイル」を各 ID 別に作成します。

これらの「変換ルール定義ファイル」が格納されたフォルダを指定することで、各 ID に対応する「日本語名」を変更又は追加することができます。

各 ID に対応する「変換ルール定義ファイル」の内容について説明します。

ファイル名	説明
① 項目名変換ルール定義ファイル	<ul style="list-style-type: none"> 各「要素 ID」の日本語名として CSV ファイルに出力される「項目名」を定義したファイルです。 ツール内部に保持している変換ルールは、標準項目に対応しており、企業拡張項目については項目名が出力されません。必要に応じてルールを追加してください。
データ内容	「要素 ID」、「項目名」
ファイルイメージ	<pre>jppfs_cor:Goodwill,のれん jppfs_cor:GoodwillIAELC,のれん、無形固定資産、電気通信事業固定資産 jppfs_cor:GovernmentBondsAssetsINS,国債、資産の部、保険業 jppfs_cor:GovernmentBondsCAFND,国債証券、流動資産、投資信託</pre>
② コンテキスト ID 変換ルール定義ファイル	<ul style="list-style-type: none"> 各「コンテキスト ID」の日本語名として CSV ファイルに出力される「相対年度」、「連結・個別」及び「期間・時点」を定義したファイルです。
データ内容	「コンテキスト ID」、「相対年度」、「連結・個別」、「期間・時点」 2013 年 9 月以降:「コンテキスト ID(先頭のアンダースコアまで)」 +「0~2」(0: 連結 / 1: 個別 / 2: その他)、「相対年度」、「連結・個別」、「期間・時点」
ファイルイメージ	<pre>Prior1 YearConsolidatedDuration,前期,連結,期間 Prior1 YearDuration,前期,その他,期間 Prior1 YearNonConsolidatedDuration,前期,個別,期間</pre> <ul style="list-style-type: none"> 2013 年 9 月以降 <pre>Prior1 YearDuration_0,前期,連結,期間 Prior1 YearDuration_1,前期,個別,期間 Prior1 YearDuration_2,前期,その他,期間</pre>

ファイル名	説明
③ ユニット ID 変換ルール定義ファイル	<ul style="list-style-type: none"> 各「ユニット ID」の日本語名として、CSV ファイルに出力される「単位」を定義したファイルです。 ツール内部に保持している変換ルールは、「JPY」から「円」への変換ルールのみです。
データ内容	「ユニット ID」、「単位」
ファイルイメージ	JPY,円

※ 変換ルールは全て半角カンマで区切られており、1行ごとに1つの変換ルールが記載されています。
 「データ内容」部分の各 ID 及び項目詳細については、「1-5 CSV 出力結果」を参照してください。
 ※ ツール内部で保持している変換ルール定義ファイルの具体的な内容については、「変換ルール定義ファイル情報」を参照してください。

「出力日本語名の変更及び追加機能」は、次の場合に使用します。

- ① XBRL から CSV への変換ツールを用いて取得した CSV ファイル上の日本語名を変更したい場合
- ② XBRL から CSV への変換ツールを用いて取得した CSV ファイルに日本語名が空欄の場所について、日本語名を新たに定義したい場合

例えば、次の CSV ファイルイメージにおける枠内の箇所を変更したい時に使用します。

jppfs_cor:Assets	資産	Prior1Year Instant	前期末	連結	時点	JPY	円	100000
jppfs_cor:Assets	資産	CurrentYear Instant	当期末	連結	時点	JPY	円	100000
jpcrp030000-asr_X99999-000:EdinetIncome		Prior1Year Instant	前期末	連結	時点	JPY	円	200000
jpcrp030000-asr_X99999-000:EdinetIncome		CurrentYear Instant	当期末	連結	時点	JPY	円	200000
...								

「jppfs_cor:Assets」に対応する日本語名を変換したい。

「jpcrp030000-asr_X99999-000:EdinetIncome」に対応する日本語名を定義したい。



次に、CSV ファイル内容の事例を用いて、各 ID に対応する「変換ルール定義ファイル」について説明します。

①	jppfs_cor:Assets	資産	Prior1Year Instant	前期末	連結	時点	JPY	円	100000
	jppfs_cor:Assets	資産	CurrentYear Instant	当期末	連結	時点	JPY	円	100000

②

③

上記 CSV ファイル内容の事例において、①～③それぞれが各「変換ルール定義ファイル」に対応する範囲を表しています。また、青色の実線と点線で囲まれた部分について次に説明します。

線の種類	説明
	XBRL ファイルから抽出された ID であることを示します。
	XBRL ファイルから抽出された各 ID に対して、変換ルールに記載された日本語名であることを示します。

2-2 出力日本語名の変更及び追加手順

出力日本語名の変更及び追加の手順は次のとおりです。

1

変換ルール定義ファイルの編集

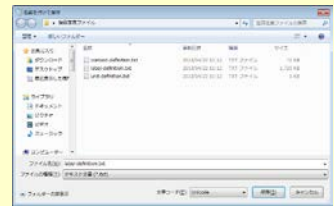
EDINET が提供する変換ルール定義ファイルに変更及び追加を行います。



2

変換ルール定義ファイルを任意のフォルダに格納

作成した変換ルール定義ファイルを任意のフォルダに格納します。



3

変換ルール定義ファイルを指定して実行

変換ルール定義ファイルが格納されたフォルダを指定してツールを実行し、作成した変換ルール定義ファイルの内容が反映されていることを確認します。



2-2-1 変換ルール定義ファイルの作成

1

変換ルール定義ファイルへの変更及び追加の内容を決定します。

※今回の例では、要素 ID に対して日本語名が定義されていない箇所(下図の枠内にある企業拡張項目の部分)に、対応する日本語名を追加するため、項目名変換ルール定義ファイルを作成します。

※各種変換ルール定義ファイルは、本操作ガイドとともに「XBRL から CSV への変換ツール」操作ガイド 変換ルール定義ファイル情報として公開しています。本定義ファイルをひな形として編集することができます。

※変換ルール定義ファイル情報はタクソノミの改訂等により、変更になる場合があります。最新の変換ルール定義ファイル情報が公開された際、既に作成された変換ルール定義ファイルがある場合には、既に作成された変換ルール定義ファイルの変更及び追加の内容を最新の変換ルール定義ファイルに反映して使用してください。

jppfs_cor:Assets	資産	Prior1Year Instant
jppfs_cor:Assets	資産	CurrentYear Instant
jpcrp030000-asr_X99999-000:EdinetIncome		Prior1Year Instant
jpcrp030000-asr_X99999-000:EdinetIncome		CurrentYear Instant

2

テキストエディタを開き、「2-1 出力日本語名の変更及び追加機能」(P.21)に記載している、各 ID に対応する「変換ルール定義ファイル」の表の「データ内容」のとおりに変更又は追加する部分を記載します(各種変換ルール定義ファイルはカンマ「,」の区切りのテキストファイルです)。

※今回の例では、要素 ID「jpcrp030000-asr_X99999-000:EdinetIncome」に対し、項目名「EDINET 純利益」を記述しています。

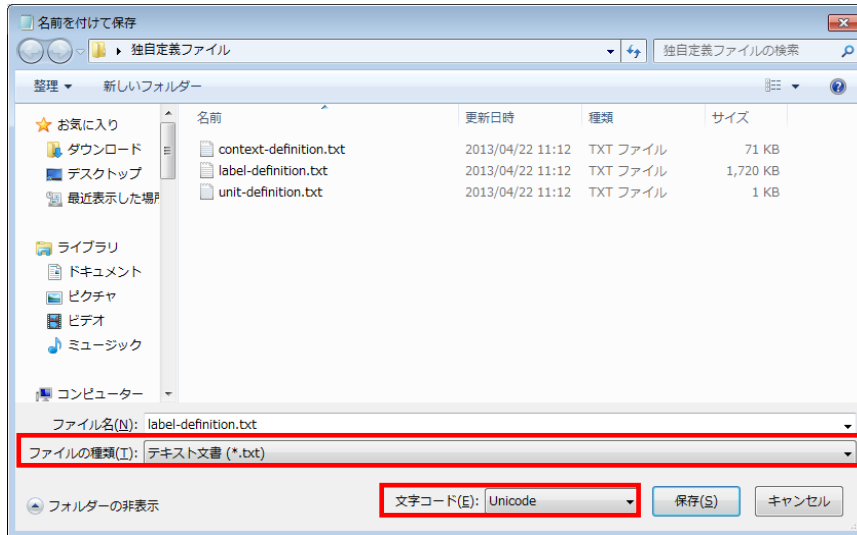
jpcrp030000-asr_X99999-000:EdinetIncome, EDINET 純利益

3

作成した「変換ルール定義ファイル」を次の表に示すファイル名で、文字コード「Unicode (UTF-16LE)」、改行コード「CRLF」、ファイルの種類を「テキスト文書(.txt)」と指定して、任意のフォルダに保存します。

※Windows のメモ帳では「Unicode」は文字コード UTF-16LE を示します。

※Windows では初期設定として改行コード「CRLF」が指定されているため、指定は不要です。



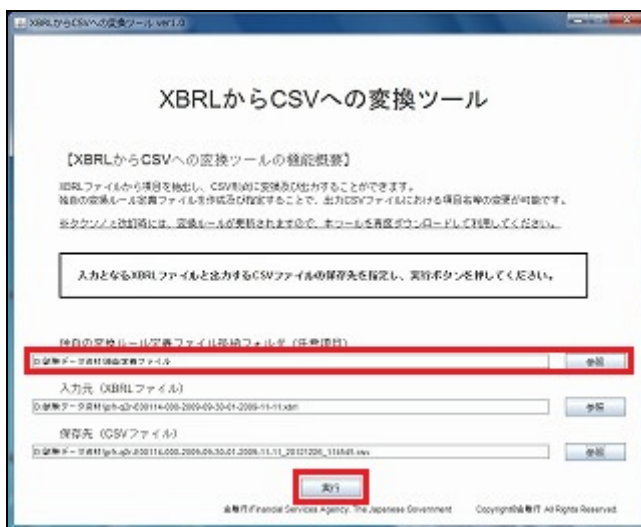
変換ルール定義ファイル名	ファイル名
① 項目名変換ルール定義ファイル	「label-definition.txt」
② コンテキスト ID 変換ルール定義ファイル	「context-definition.txt」
③ ユニット ID 変換ルール定義ファイル	「unit-definition.txt」

2-2-2 変換ルール定義ファイルを指定して実行

1

独自の「変換ルール定義ファイル」を格納したフォルダを指定し、CSV 変換する XBRL ファイルと CSV ファイルの保存先が指定されている状態で、 (実行) ボタンをクリックします。

※ XBRL から CSV への変換ツールが、指定したフォルダ内の変換ルール定義ファイルをファイル名で自動的に判別し、変換ルールを変更して実行します。



2

出力された CSV ファイルを、テキストエディタ、表計算ソフト等で開き、変更又は追加した変換ルールが適用されていることを確認します。

(次の例では枠の部分に項目名が追加されています。)

jppfs_cor:Assets	資産	Prior1YearInstant
jppfs_cor:Assets	資産	CurrentYearInstant
jpcrp030000-asr_X99999-000:EdinetIncome	EDINET 純利益	Prior1YearInstant
jpcrp030000-asr_X99999-000:EdinetIncome	EDINET 純利益	CurrentYearInstant

■■■ 改版履歴 ■■■

No.	改版日	改版内容
1	2013.08	初版



XBRL から CSV への変換ツール 操作ガイド

平成 25 年 8 月 1.0 版
